



たちあろい

議会だより

No. 132

平成23年11月11日発行

■発行
大刀洗町議会
■編集
議会報発行特別委員会

〒830-1298 福岡県三井郡大刀洗町大字富多819

TEL (0942) 77-4112



陣屋川へコイを放流（本郷）

新議会の構成決まる	P 2
議案	P 5
一般質問	P 6
町民の声	P 8

この議会だよりは再生紙を使用しております。

第一回臨時議会

議会の構成決まる

10月4日の臨時議会において、議長に長野正明氏、副議長に山内剛氏を選出した。

また、2つの常任委員会や、議会運営委員会、議会報発行特別委員会など、内部構成もすべて決定した。



議長
長野 正明

報告会の取り組み、また、常任委員会、特別委員会における議員の費用弁償の廃止など、行動する議会を目指し、議員間の討議の場として議会の活性化に努めて参りたいと考えております。

副議長

山内 剛

改選後の臨時議会において、議長に選出をされ、その責務を果すべく、一生懸命努めていく覚悟であります。

地方自治における二元代表制の一方であります議会のある方が問われる中、町議会において、議会改革特別委員会も設置をされ、休日議会、議会

執行機関においては、行財政改革を進めながら健全財政の維持に努められ、4年前とは財政状況は大きく改善され、住みよい町づくりに必要な事業の実施がなされております。議事機関としての議会の役割を十分認識し、執行機関と理解、協力しながら、車の両輪のごと

このたび住民の審判によって再び議会人としての仕事を与えられましたことに心よりの感謝の念



と、何とか町全体を上昇気流に乗せたい一心です。副議長職の責任の重大さを痛感すると同時に、拜命した以上は議長を補佐し、健全なる議会運営に努める所存です。

景気回復が徐々に進行するかと思われた矢先、東日本大震災が発生し、日本経済はますます不安定となり、各地方自治体も厳しい行財政運営を強いられています。各校区を母体とした地域づくりを現在進めています。これこそ正しく住民発意により行政と一体となつて進めることが大事です。

行財政改革はあらゆる角度から必要ですが、ややもすると住民へのサービスが低下するので、きめ細かな工夫と知恵が議会にも問われます。

町の基幹産業である農業の発展には、未整備地区の基盤整備事業の実施と、整備地区は付加価値の高い農業の振興、さらに企業誘致を達成させることは、若者の雇用拡大、

総務文教厚生委員会

委員長 花等 順子



副委員長 後藤 晴一



地域商業の発展に直結するもので、町と議会が一体で進めなければ出来ません。町民の皆さんからの意見を的確に反映させます。

そのため対話を重点に努めますので、今後のご指導をお願いし、就任のあいさつとさせていただきます。

健全財政を堅持しつつ、子育て支援環境を整え、高齢者福祉の充実と男女共同参画社会の実現を目指します。

委員会を活性化させ、一人ひとりが大切にされる大刀洗町になるように頑張ります。

住民の皆様が、「住み続けたい」「任んでよかった」と実感できる安心で魅力ある町づくりに、力を注いでまいります。

委員 平田 信将



少子高齢化が進む中、

お年寄りが安心して生活できるよう、また、将来を担う子ども達が、夢と希望を持てるまちづくりを目指して頑張ります。

委員 平山 賢治



皆さんの暮らし・福祉をまもる町政の実現のため、引き続き住民の皆さんと力を合わせてがんばります。

委員 林 威範



育児世代、独身者の意見もしっかりと議会へ挙げ、先輩方の知恵と若い世代の行動力を融合した町づくりに尽力します。

委員 安丸眞一郎



大切な一票を投じて頂いた皆様の期待を裏切らないよう「安全・安心心やすまる街づくり」をモットーに頑張ります。

委員 黒木 徳勝



建設経済委員会

委員長 山田 英敏



副委員長 森田 勝典



委員 平田 一成



「やります！あなたの声を町政へ」をモットーに、住民の思い考えを議会に反映できるように一生懸命議員活動に励みます。

委員長としての自負と責任をもって、このすばらしい環境を維持し、農業経営の安定化、農業後継者育成、若者が住みやすい町にするための公害のない工場等の誘致、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街づくりに全力投球します。

住民の皆様にかかれた議会、身近な議会にと頑張ってきました。これからもわかりやすい議会運営をやっていきます。また、安心安全な町づくりに頑張っていきます。

委員 山内 剛 (副議長)

委員 山内 剛 (副議長)

議会運営委員会

- 委員長 平田 一成
- 副委員長 平山 賢治
- 委員 山田 英敏
- 委員 花田 順子
- 委員 山内 剛

議会報発行 特別委員会

- 委員長 平山 賢治
- 副委員長 林 威範
- 委員 平田 信将
- 委員 後藤 晴一
- 委員 森田 勝典

議会改革特別委員会

- 委員長 山内 剛
- 副委員長 安丸 眞一郎
- 委員は全議員で構成

議会より 選出された 監査委員

黒木 徳勝

その他の各種委員会も決まる

議席番号及び氏名 委員会等の名称	① 平田 信將	② 黒木 徳勝	③ 後藤 晴一	④ 平山 賢治	⑤ 山田 英敏	⑥ 林 威範	⑦ 安丸 眞一郎	⑧ 花等 順子	⑨ 平田 一成	⑩ 森田 勝典	⑪ 山内 剛	⑫ 長野 正明
久留米市外三市町高等学校組合						○			○			
両筑衛生施設組合								○				○
甘朝三環境施設組合											○	○
久留米広域市町村圏事務組合				○								○
三井水道企業団	○		○							○		○
久留米地方拠点都市地域整備推進協議会												○
大刀洗町土地開発公社		○	○		監	○				○		
表彰審査委員会								○			○	○
総合計画審議会					○			○			○	○
行政改革推進委員会											○	○
都市計画審議会					○			○			○	○
国民健康保険運営協議会	○	○		○								
小郡三井地区防犯協会											○	○
民生委員推薦会							○					
青少年問題協議会							○				○	○
社会福祉協議会	○			○						○		
モーター類似施設建築審査会			○					○				
小郡市大刀洗町葬斎施設組合会議					○			○			○	○
環境美化対策審議会								○				○
消防委員会	○					○	○			○		
農業委員会					○							
農業振興地域整備促進協議会	○	○				○		○				
地域水田農業推進協議会							○			○		
筑後川中流右岸流域下水道促進協議会												○
町営住宅入居選考委員会			○		○	○				○		
国道322号改良促進協議会												○
大刀洗川改修促進期成会	○	○			○						○	○
陣屋川改修促進期成会						○		○	○	○		○
床島蜷城地区改修期成同盟会				○		○		○				○
県道塔の瀬十文字小郡線整備促進期成会	○	○			○					○		○
主要地方道久留米筑紫野線道路建設促進期成会												○
筑後川未来空間形成促進期成会												○
社会教育委員 兼 公民館運営審議会委員			○									
人権・同和教育推進協議会								○				○
体育協会							○					○
青少年育成町民会議												○
文化事業協会							○	○				○
男女共同参画推進審議会								○				

9月議会

病後児保育センターを設置

本郷保育園横で10月から

病後児保育センター設置条例

補正予算

教育委員の任命



開所式は多くの参加でにぎわった

○病後児保育とは

病気の回復期にある、集団生活が困難な児童を一時的に預かり、安静の確保に考慮しておこなう保育のことを言う。

○センターの名称は、「こどもハウスすこやか」本郷保育園に隣接。

○運営は町の社会福祉協議会が受託する。

設置条例は全会一致で可決し、10月1日に開所式が行われた。子育て支援の一環として有効な活用が期待される。

一般会計

9908万円を追加し、総額を53億2312万円とする。

追加の主なものは

○本郷小学校プール改修工事 3990万円

○自主防災会の避難用機材購入費 200万円

○橋梁点検委託料 500万円

○病後児保育委託料 300万円

○道路改良費 700万円

○住宅用太陽光発電設置補助金 170万円

など。全会一致で可決。

後期高齢者医療会計

268万円を追加し、総額を1億5501万円とする。

主なものは職員人件費の増。全会一致で可決。

下水道会計

630万円を追加し、総額6億8886万円とする。追加の主なものは高樋地区の変更認可申請委託料。全会一致で可決。

町道の認定

これまで農道として管理していた道路のうち、幅4m以上のものを町道として認定する。

路線数は83本で、総延長は29.5キロメートルに達する。

全会一致で可決。



河野政之氏

任期満了にともない再任する。任期は23年10月17日から4年間。全会一致で同意。

町政を問う!

一般質問

一般質問

この原稿は、質問者本人の責任で質問内容を要約したものです。
一般質問の全文(議事録)は、議会事務局、または各校区センターで閲覧できますのでご利用ください。

町長の今後の政策は



山内 剛 議員

標に、職員の適正な配置

議員 町長は就任して3年8ヶ月となるが、今までに取組んだ主な事業はなにか。また、今後どのような施策があるか。

現在、国・県の補助事業が少なく、地元の協力も不可欠であろうが、公共事業を新規に起こすことで地域の繁栄があると思うが、町長の考えは。

健全財政で政策を推進

町長 財政の健全化を目

部地区の圃場整備をしていない地域については考えて取組んでいる。

里道の把握はどうか

議員 いわゆる「里道」

については、道路法として適用されない認定外道路として、国有財産法上、公共用財産として管理されるものとしている。町はすべての里道について



里道の管理はどうか

移譲の分は管理

把握しているか。所有権は今どこの機関か。財務省から平成12年～17年にかけて市町村に譲渡申請をとるような指示があったと聞くが、町に移管されたのか。管理はどこののか、処分についての考えは。

町長 15年～17年にかけて国有財産の権限

移譲が行われ、道路として機能している里道については町へ移譲されている。これらの里道については町で把握しているが、それ以外については登記上の所有権を確認した上で個別に判断している。



平山賢治 議員

アンケートに寄せられた声から

財政支援は難しい

町長 今のところ、町独自のこれ以上の財源措置は難しい。健康増進や、保険診療の適正化などで医療費縮減にも努めたい。

小学生の医療費助成を

議員 子育て支援について、

(1)小学生の医療費は、県下の3分の1の自治体で無料化に踏み出しているが、大刀洗町はどうか。

(2)不妊治療への助成

(3)病児、病後児保育の充実

議員 日本共産党が7月に実施した町民アンケートの回答に基づいて質問する。
全体として、暮らしが悪くなったとの回答が6割。収入が減る一方で税や保険料が上がるダブルパンチである。
最も負担感の重いものは国保税が1位であり、大刀洗は県内で9番目に高い税額となっている。改善の意思は。

県への要望も検討

町長 (1)今のところ無料化は考えていないが、県への要望も含めて子育ての推進を考える。

(2)現在は県の助成があり、町でも申請が増加傾向である。当面はこの助成制度を見守りたい。

(3)一時預かりを全保育園で実施しているほか、病後児保育センターを設置する。病児については小児科医の確保が難しいので久留米広域圏で対応している。

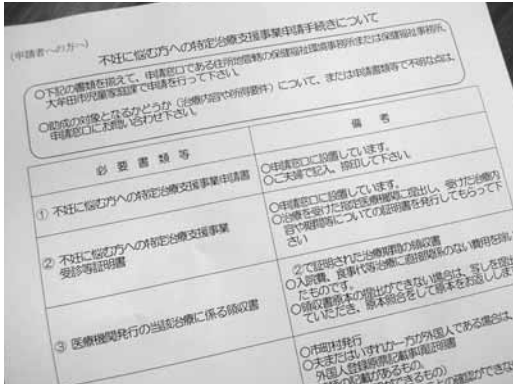
原発の対策を早く

議員 原発への対応について、政府の対応に不満との回答が9割である。福岡県の対応も極めて鈍い。町として政府や県に

どのような意見を述べていくか。町として独自にできる自然エネルギーへの取り組みは。

町長 町村会など、他の自治体とも一緒になって情報公開などを国に求めていきたい。

ゴミ減量や、太陽光発電を推進する。



県で不妊治療へ助成している

24年度の地域づくりは



花等順子 議員

議員 各校区において地域づくりが行われている。

現在、校区センターには、管理運営委員会助成金が12万7500円、地域づくり推進助成金が20万円、清掃委託費が約30万円、実績に応じて払われる地

域づくり事業助成金が50万円ある。これに人件費がプラスされて地域づくりがなされている。来年度から、統合交付金として一括して支出されることだが、

- ①交付金のつけ方と金額
②交付金の使い方について町長の考えを問う。

1月までに決定する

町長 各校区センターに



地域づくりでさまざまなイベントが (本郷・観月ウォーキングのミニコンサート)

支出している金額を地域づくりのための統合交付金として交付する。

現在、コンサルタントの協力を得ながら、業務改善・システム改善事業として1月をめどに業務の進め方の見直しをしている。

- 町が実施すべき事業
○町と地域が協働で行う事業

各課を越えて支援する

○地域で行う事業を整理して、現在町から地域へ補助・助成している事業や今後地域で実施してもらおう事業を含め、統合交付金として交付していきたいと考えている。

この統合交付金にどのような事業まで含めるかは、地域の方々と十分に時間をかけて協議し、納得いただいで決定する。

24年度は基本的に各校区同額を考えている。

使途については、スタッフ体制、取り組む事業を踏まえ、各校区において決定してほしい。

手話通訳者の設置を

議員 町内には12〜13人手話通訳を必要とされる方がいる。病院や銀行等役場などで不自由をされている。対策は。

- ①手話通訳者の設置
②手話通訳者の養成
③通訳者の活動環境作り

町長 手話通訳者の設置はむずかしいが、現在庁舎に3人の手話奉仕員登録者があり、他にもある程度手話ができる職員が3人いる。手話が必要な方が来庁されたら各課を越えて支援できるように協力体制を推進していく。

副町長 手話通訳者の養成(町社協主催で入門講座・県主催で初級・中級・上級コース等がある)

については、職員を職務免除などの処置を講じて習得させる手段を考えた。

フォトニュース



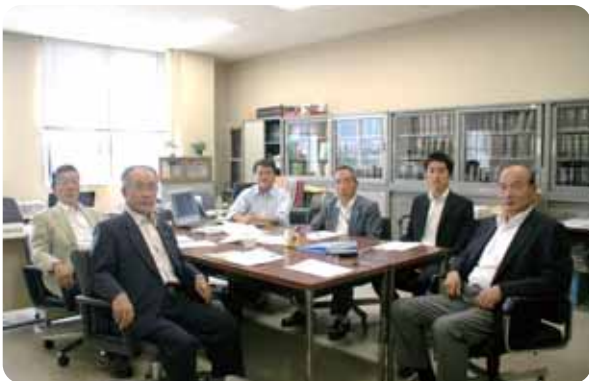
今年も米ができました(大堰小)

議会を傍聴しませんか

12月議会
12月8日(木)開会
 一般質問は
12月18日(日)
 (いずれも予定です)

どなたでも自由に傍聴できます。

お問い合わせ
議会事務局 77-4112



新しい広報委員です。よろしくお願いします。

町民の 声

誰もが安心して 暮らせる町って？

南本郷 久永 由己枝 さん



私が参加している大刀洗町障がい児・者親の会『ぼけっと』は、発足して3年目です。社協や福祉関係の方々の協力を得

ながら、毎月一回集まっています。おしゃべり会を中心に、子ども達を取りまく生活・福祉・教育に関する情報交換や学習会などを行っています。

私の息子には発達と知的な障害があります。今まで関わっていただいた方々のお陰で、ひとりで行けることも増えてきま

した。最近では自転車、町の図書館に行くのを楽しみにしており、「ひとりで行くね。お母さん、お留守番。」と言って出かけています。のんびり屋なので館内でもマイペース。職員や他の利用者の方に助けてもらうこともしばしばあります。でも、慣れ親しんだ所・物・人、「いづもどおり」が大好きです。

今は家族と生活しているので、何とか彼の「安心できる環境作り」ができていますが、将来への不安があります。まだ言葉だけでの説明では理解できないことも多く、急に予定が変わることや次に何があるかわからないことが、とても苦手だからです。でも、考えてみれば、誰でも慣れないことは言葉だけの説明では分かりづらく、予告なしの予定変更や見通しの立たない状況では安心して暮らせません。息子にとって、何らかの支援や制度は「なくてはならないもの」です。でも、これらは誰にとっても「ある

ながら、毎月一回集まっています。おしゃべり会を中心に、子ども達を取りまく生活・福祉・教育に関する情報交換や学習会などを行っています。

「ユニバーサルデザイン：老若男女、障害、能力の如何を問わずに、できるだけ多くの人が利用できる施設・製品・情報にしていくこと」という考え方があるそうです。この発想で何かを決め、創り出していけるような町であることを望んでいます。

『ぼけっと』みんなの願いです。

町議選を終え、議会報発行委員会も新しい顔ぶれになりました。四年前の町議選より投票率が低下したことを心に刻み、町民の皆様の声をしつかり届ける議会、議会の姿をすばやく正確にお伝えできる議会報へ向けて委員一同、頑張っ

編集 後記

町議選を終え、議会報発行委員会も新しい顔ぶれになりました。四年前の町議選より投票率が低下したことを心に刻み、町民の皆様の声をしつかり届ける議会、議会の姿をすばやく正確にお伝えできる議会報へ向けて委員一同、頑張っ

読んでみたくなる議会報、傍聴したくなる議会、参加したくなる町づくりにするために、ぜひ皆さまからもアイデア、ご意見をお寄せ下さい。よろしくお願いたします。

(林)

- 議会報発行特別委員会
- 委員長 平山 賢治
 - 副委員長 林 威範
 - 委員 平田 信将
 - 委員 後藤 晴一
 - 委員 森田 勝典
 - 委員長 長野 正明